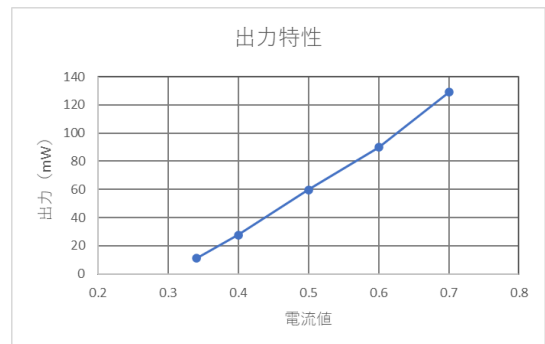
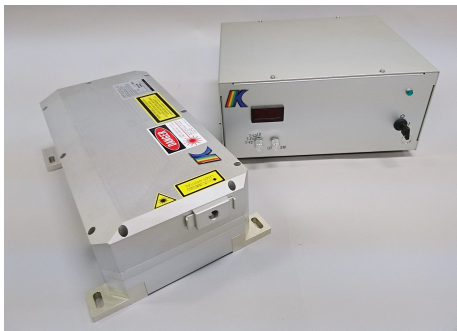


UV ファ이버レーザー装置

(株式会社金門光波) 佐藤毅

キーワード: UV、ファイバーレーザー、ラマン分光、フォトルミネッセンス、GaN、材料評価

UV ファ이버レーザー装置



特徴

- ・ 発振波長 318nm、出力 100mW
- ・ フッ化物ファイバーの基本波を 1 回で UV 光に変えるレーザー装置 (製品化世界初)
- ・ ユニークなレーザー共振器構造 (特許取得)
- ・ 高効率ファイバー冷却システム (特許取得)
- ・ 小型・高効率・高出力のレーザー装置

装置は NEDO の研究成果によるものです。

仕様

発振波長: $318 \pm 1\text{nm}$
定格出力: 100mW (CW)
発振横モード: TEM₀₀ ($M^2 < 1.2$)
ノイズ: <5% (p-p)
発振器: 175*360*106mm

今後の展開や産業利用

紫外レーザー装置の発振波長、出力、効率等のアドバンテージをアピール

- ・ **材料評価**: GaN 基板の結晶評価用光源。長寿命でランニングコストが低減できる。
- ・ **ラマン分光**: たんぱく質などの構造分析。宝石などの真贋判断。
- ・ **PL 用光源**: フォトルミネッセンス用の励起光源として。

メッセージ

- ・ 光計測機器の光源として評価いただける装置メーカー様を募集しております。
- ・ UV レーザー装置の応用についてご意見ご提案をお待ちしております。
- ・ レーザー装置についてのお問い合わせは弊社営業までお願いします。